

「PDCA見える化システム

“PDCAマップ2.5”に知財バージョンが登場！」

株式会社ワイズシステム（本社：〒612-0012 京都市伏見区深草一ノ坪町12-2久安ビル3階 TEL：075-646-0667 代表者：山岡敬章 設立1999年6月）は、PDCA「Plan（計画）Do（実行）Check（チェック）Act（改善）」というスタンダードなカイゼン手法を見える化したシステムの最新バージョン2.5をリリースした。

「マインドマップ風の見た目&操作感をWEBで実現」

アイデアやノウハウを階層化して整理・管理できる、PDCAマップ2.5は、マインドマップと工程管理の特長を併せ持ったシステム。P・D・C・Aの四つの枠がある「PDCAシート」に情報を書き込み、「PDCAシート」をツリー状に自由に移動・連結することができる。

関連した情報同士をまとめたり、ワークフローの流れを見える化することが、特別なソフトウェアをインストールすることなくWEB上で可能になった。ISO認証取得等の現場でも、PDCAによるカイゼンは必須の概念だが、これを明確に記録化できるシステムは、いままで少なかった。

「知財業務用バージョン登場」

知的財産・特許の重要性が増す近年、中小企業では、社内の技術や特許、知的財産部門の業務の取りまとめに苦勞することが多い。PDCAマップ2.5では「知財バージョン」があり、技術やノウハウの記録はもちろん、類似した技術の調査結果や、特許出願といった関連業務の流れを記録化できるようになっている。

「無料のパーソナル・バージョンを提供中」

またPDCAマップ2.5から部門・グループ管理機能を省いた「パーソナル・バージョン」も無償で提供している。だれでもWEBから申し込むことができ、旧バージョンから1000名以上のユーザーに利用されている。

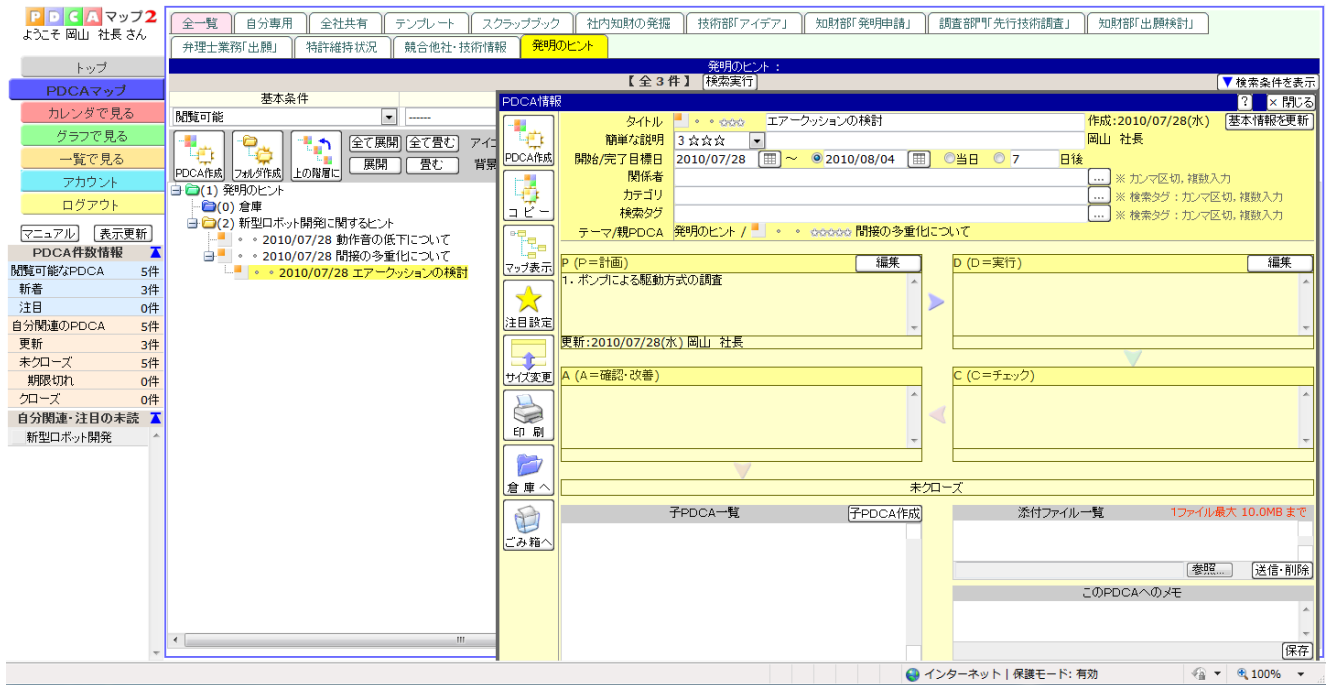
<お申し込み・お問い合わせ先>

株式会社ワイズシステム

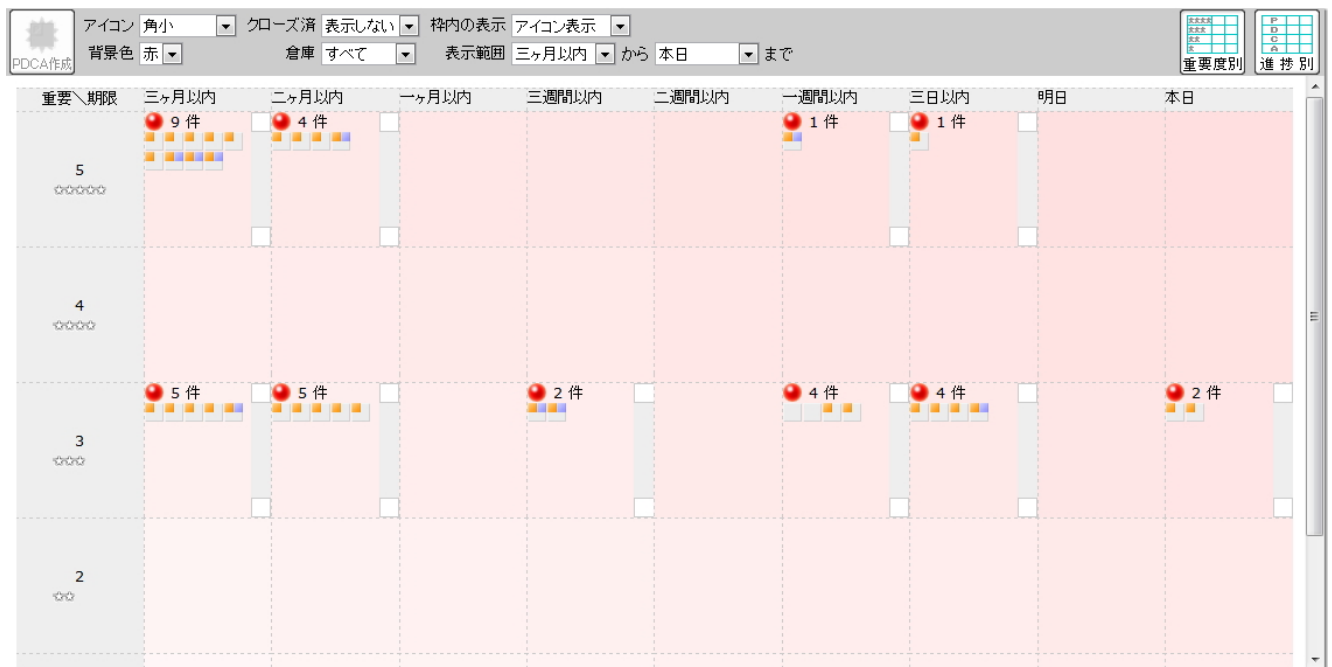
〒612-0012 京都市伏見区深草一ノ坪町12-2 久安ビル3階

TEL：075-646-0667

<http://www.wides.com/> info@wides.com



参考画像 2. 時系列表示で、仕事の優先順位もすぐにわかります



参考画像 3. カレンダー表示で、ToDoのような使い方も可能

